

鈴鹿市の部活動の現状について

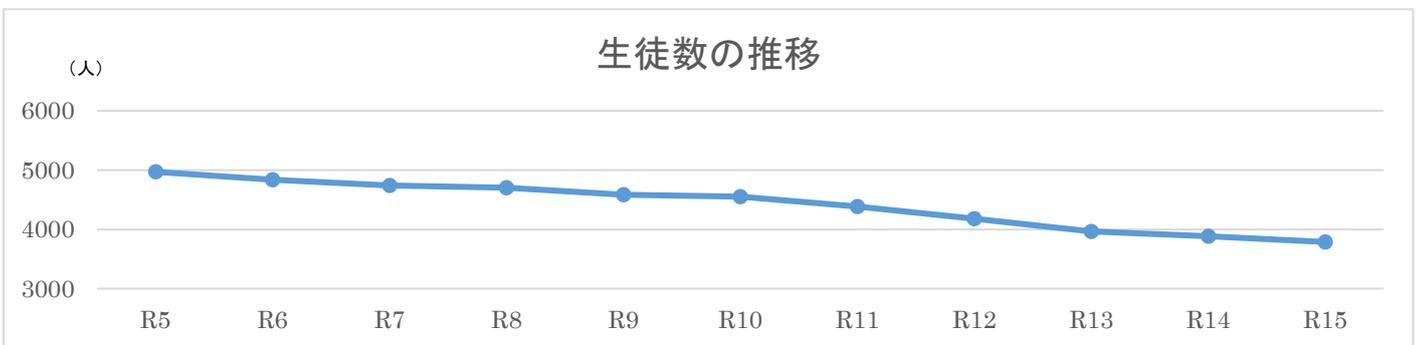
1 本市の現状

令和5年度、本市10校の公立中学校では、運動部が107部活動（男女含）、文化部は39部活動が設置されており、1校当たりの平均設置数は14.6となっています。

また、令和5年度の生徒数は4,971人、令和15年度には3,787人となり、10年で約1,200人の生徒数の減少が見込まれます。

なお、学校部活動を運営するためには、部員数と指導者が必要となりますが、生徒数減少に伴い、チームが編成できず、大会等に出場できなくなることや学級規模縮小により、教員数が減少し、担当顧問数が制限される等、支障が生じることが憂慮されます。

こうしたことから、学校で行われている部活動をこれまでどおり、維持していくことは困難な状況にあり、持続可能な活動方法等を検討していく必要があります。



学級数（普通学級のみ（特別支援学級は除く。））の推移

	平田野	白鳥	神戸	大木	千代崎	白子	天栄	鈴峰	鼓ヶ浦	創徳
R 5	12	13	22	11	17	27	15	9	12	18
R 15	9	8	20	8	15	21	10	6	9	17
	▲3	▲5	▲2	▲3	▲2	▲6	▲5	▲3	▲3	▲1

2 部活動運営状況

(1) 教員による部活動顧問

■中学校の部活動では、複数顧問（2人以上）配置を基本としていますが、少子化に伴う教員定数減により、複数顧問配置ができない学校もあります。（3校25部活動）

■専門的な指導ができない教師が、部活動の顧問を担当する状況があり、生徒のニーズに応じた部活動運営をすることが大きな負担となっています。

(2) 部活動指導員の配置

■教員の代替として専門的な指導を行い、教員の負担軽減に資するよう、部活動指導員を配置しています。なお、令和4年度は7校7名、令和5年度は、10校13名となっています。

平成29年に学校教育法施行規則が改正され、部活動指導員の職務等が明文化されました。部活動指導員とは、学校の教育計画に基づき、部活動において技術的な指導にあたることのできる地域指導者のことを指します。教師が担っている部活動顧問と同様の業務を行うことができ、大会引率等の幅広い活用が可能となります。

部活動指導員配置状況

	平田野	白鳥	神戸	大木	千代崎	白子	天栄	鈴峰	鼓ヶ浦	創徳
令和4年	バドミントン		卓球	ハンドボール	柔道	吹奏楽	卓球		バレー	
令和5年	バドミントン	卓球	卓球	ハンドボール	柔道	吹奏楽 バスケット	卓球 サッカー	野球	バレー ソフトテニス	ソフトボール

(3) 外部指導者の活用

■ ボランティアの外部指導員として地域の人材を活用して顧問教員の負担軽減を図っています。

外部指導者の活用状況

白鳥	大木	白子	鈴峰	鼓ヶ浦
ソフトテニス ソフトボール バスケットボール	卓球	卓球 ハンドボール ソフトテニス	サッカー	バレー